

まちづくり

鴻巣市の温泉は行田市民の福利厚生になるか

石井直彦
(発言と行動する会)

鴻巣行田北本環境資源組合では、余熱を利用した温浴施設を造る検討委員会が鴻巣市主導で開催されている。

問 余熱利用施設建設は、行田市民のためとの答弁であるがその理由は、

答 施設整備基本計画に示されている余熱利用施設は、市民の福祉増進を図ることができる。

問 発電や売電利用後の残った熱のみを余熱利用施設において利用することに間違いはないか。

答 そのとおりと聞いている。

問 平成29年2月の施設整備基本計画では、整備を予定する余熱利用施設への外部熱供給(温水)として一時間当たり5ギガジュールを供給することを条件としたと示されている。余熱は最大限、発電利用後の熱のみ、利用することによいか。

答 5ギガジュールを余熱利用施設に回せるものと認識している。

問 発電利用後の残りではなく、5ギガジュールを別に供給するとしているのではないか。これは虚偽の答弁にならないか。

答 余熱利用施設への供給可能熱量が5ギガジュールということを前提に建設検討委員会が設置されている。

問 余熱利用施設建設費の上限はいくらか。

答 3市で合意の上決定していきたい。

問 余熱利用施設については建設費に上限を設けるべきである。高額な余熱利用施設建設は行田市民のためにならない。上限について再度聞きたい。

答 広域化を前提に検討していきたい。

その他の主な質問

- 吉里山自治会館の移転
- パワハラ問題

国民健康保険税

子どもに対しての保険証の取り上げはやめるべき

斉藤博美
(日本共産党)

滞納が1年以上続くと、毎年送られてくるはずの保険証を市の窓口に取りに行かなければならないが、来られない方には2カ月間窓口で留め置く措置が行われている。

問 生活困窮などで保護者が滞納している家庭の子どもも無保険状態になり医療費の全額負担が必要となる。公の機関として何の社会的責任もない子どもを命、健康の保護にかかわる保険証の取り上げ、留め置きはやめるべき。子どもに対して滞納を自己責任と追認するのは間違いである。

答 子どもの短期被保険者証の留め置きは、今後、県内他市町村の状況等を参考にその取り扱いについて検討していく。

●JR行田駅前再整備

問 計画には2階建てのデッキの整備があるがこれから人口も減っていく

上で過大な計画ではないのか。長い計画期間に対し、社会情勢の変化で合わないものは計画の途中で見直すべきではないか。

答 一定の期間を経過したときには社会情勢、人口減少の動態を踏まえ、計画を評価、検証し整備内容を見直していきたい。

●行田駅前駐輪場は委託、有料化すべきではない

問 もともと立体駐輪場の建設費確保のために水路上駐輪場の台数も含めて有料化が検討されていた。立体駐輪場建設が白紙になり目的が変更されたが、なぜ水路上駐輪場の委託、有料化の話がなくならないのか。現在の水路上駐輪場は駅近くにも空きがみられる。有料化を進めたら破綻するのではないか。

答 あらゆる選択肢の中から有料化も含めて、検討していきたい。

市議会を傍聴してみませんか

市議会には、定例会(3月・6月・9月・12月)と必要がある場合に開かれる臨時会があります。

市議会は公開しており、傍聴人受付簿に、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。(定員50人)

議場は市役所3階にありますので、エレベーターをご利用ください。

平成29年 傍聴者数

定例会	傍聴者数
3月定例会	93人
6月定例会	76人
9月定例会	145人
12月定例会	138人
合計	延べ452人

インターネット議会中継

市議会の様子(生中継・録画放映)をパソコンやスマートフォンでいつでもご覧いただけます。



平成29年 インターネット生中継アクセス数

定例会	アクセス数
3月定例会	延べ4,996回
6月定例会	延べ4,755回
9月定例会	延べ3,451回
12月定例会	延べ4,627回

平成29年 インターネット録画放映アクセス数

合計	月平均
延べ4,729回	約394回

請願

3月定例会に提出された請願は5件で、所管の委員会で慎重に審査を行い、次のページのとおり決定しました。(敬称略)